国立大学法人長岡技術科学大学
令和８年度第２回経営協議会議事要旨

日　時　　令和８年６月19日（金）15時00分～16時11分

場　所　　長岡技術科学大学マルチメディアシステム棟会議室及びGoogle Meetによるハイブリッド会議

出席者　　鎌土議長、天羽委員、池田委員、石橋委員、井上委員、阪口委員、佐藤委員、武田委員、山下委員、吉田委員、上地委員、鈴木委員、岩橋委員、宮下委員、湯川委員
（議事の表決委任による出席：磯田委員、萱島委員、中島委員、原委員、森沢委員）

陪　席　　馬場監事
事務局　　事務局次長（総務担当）、監査室長事務代理、企画・広報室長、財務課長、施設課長、総務課長、総務課参事、財務企画係長、企画広報室専門職員、総務係専門職員、財務企画係主任、総務係員

配付資料
令和８年度第１回経営協議会議事要旨（案）
資料１－１　達成状況報告書（案）
資料１－２　達成状況報告書別添資料（案）
資料１－３　業務実績報告書（案）
資料２　　令和７年度の計画に係る中期目標・中期計画の進捗状況に関する自己評価書（案）
資料３－１　令和７年度決算の概況
資料３－２　令和７事業年度決算について（案）
資料３－３　令和７事業年度財務諸表の解説（案）
資料３－４　令和７事業年度（第22 期）財務諸表（案）
資料３－５　令和７事業年度（第22 期）事業報告書（案）
資料３－６　令和７事業年度（第22 期）決算報告書（案）
資料３－７　令和７事業年度（第22 期）監事及び監査法人の監査報告書
資料４　　令和９年度国立大学法人施設整備費等要求（概算要求）について
資料５　　国立大学法人ガバナンス・コード全原則に対する長岡技術科学大学の適合状況（令和８年度）（案）
（参考資料１）国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書(令和７年度)
（参考資料２）ガバナンス・コードにかかる適合状況の確認スケジュール（予定）
報告１　　国立大学法人における会計監査人の選任について（通知）

議事に先立ち、令和８年度第１回経営協議会議事要旨（案）について説明があり、原案のとおり承認した。

【審議事項】
１．第４期中期目標期間における４年目終了時評価について

武田委員から資料１－１から資料１－３に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。なお、軽微な修正は学長に一任することとした。

２．令和７年度の計画に係る中期目標・中期計画等進捗状況に関する自己評価書について

武田委員から資料２に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。なお、鎌土議長から評価指標 1-1-2 の達成状況の評価について再確認するよう指示があった。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等●：大学からの回答）

○令和７年度の自己評価では「未達の項目が１つ」となっているが、議題１の審議事項における４年目終了時評価書では「未達項目無し」となっている。これは、終了時評価書は令和９年度までの見込みが含まれているからと理解してよいか。

●そのとおりである。

３．令和７年度決算について

上地委員から資料３－１から３－６に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。また、馬場監事から資料３－７に基づき監査結果の報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等●：大学からの回答）

○昨年度の人件費増加について、大学としてはどのように捉えているか。

●昨年度の人件費増については、従来は若手職員のみに限定していた人事院勧告の適用を「全職員」に拡大したこと、及び大型プロジェクトの獲得に伴って対応する教員を増やさざるを得なかったことが影響したと考えている。

○すでに終了したプロジェクト事業の人員整理、適切な人員配置の最適化などについて、どのように考えているか。

●プロジェクト事業の整理及びそれに伴う人事管理については、より一層マネジメントを強化する方針である。また、終了した事業の成果や人材を活用して「次のプロジェクトへ繋げる」というサイクルがまだ十分に機能していない側面もあり、この辺りの仕組み（マネジメント）もあわせて強化していく予定である。

○資料３－２の損益計算書における「貸方（右側)」のグラフ表記について、「目的積立金取崩額」の表記面積が「借方（左側)」のスケールと合致していない。視覚的な誤解を招くため、修正したほうが良い。

●指摘のとおり修正を行う。

４．令和９年度国立大学法人施設整備等要求（概算要求）について

山下委員から資料４に基づき、令和８年度の施設整備費の概算要求の方向性について説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等●：大学からの回答）

○女子学生の獲得においてトイレなどの水回り改修は必須だと考えるが、長岡技術科学大学ではすでに改修は終了しているのか。

●現在も学生からのアンケートや苦情などを基に、使用頻度が高い建物から優先して改修計画を進めているほか、状況に応じて整備計画を立てるなどの対応も並行して進めている。

○修繕改修の計画が承認されるための具体的な基準（「この条件を満たせば承認される」とい

ったもの）はあるか。特に長岡は積雪など環境的に厳しい立地だが、そうした地域特有の基準はあるか。

●全国統一の文部科学省の「国立大学等キャンパス計画指針」等に基づいて判断されている。地域特有の環境条件に配慮されるような基準は設けられていない。

５．国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況について

上地委員から資料５及び参考資料１～２に基づき説明があり、学外委員及び監事については、本会議終了後以降でも意見等があれば、７月 13 日（月）までに連絡して欲しい旨の説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等●：大学からの回答）

○大学の危機管理は、どのような体制で行っているのか。

●危機が発生した場合には「事業継続計画（BCP)」に基づき対応することとしている。また、基本的な緊急時の初動対応マニュアルを記載した携帯用リーフレットを作成し、教職員・学生全員に配布して周知を図っており、必要に応じて見直しを行っている。

【報告事項】

１．会計監査人の選任について

上地委員から報告１に基づき報告があった。

以　上